

ダブルディグリープログラム一覧（2021.4.1時点）

国・地域	協定校	学部/学府	課程	人数	修学期間	協定締結日	関連URL
インドネシア	ガジャマダ大学工学研究科	大学院工学府	修士	3名上限/年	合計3年間	2015.8.20 2018.8.20更新	
	ガジャマダ大学工学研究科	大学院理学府	修士	バランスを保つ ように行う(2名 を予定)	各機関において合計2.5年間	2017.3.31	https://www.sci.kyushu-u.ac.jp/international/ddp.html
	バンドン工科大学大学院鉱山石油工学研究科	大学院工学府	修士	3名以内/年	合計3年間	2014.7.24 2020.7.24更新	
韓国	国立釜山大学校建築学科	大学院人間環境学府	修士	H30年度3名 H31年度5名 H32年度5名	合計2年間	2018.1.1	
	国立釜山大学工学府	大学院総合理工学府	博士	双方協議の上 決定	合計4年間	2019.8.16	
台湾	国立台湾大学法律学院	大学院法学府	修士	5名上限/年	合計2年間	2016.2.22	http://www.law.kyushu-u.ac.jp/faculty/study/abroad.html
	国立台湾科技大学工程学院、電機情報学院、応用科学学院	大学院総合理工学府	修士	5名上限/年	合計2年～2年半	2019.12.5	
中国	中国人民大学经济学院、応用经济学院	大学院経済学府	修士	5名以内/年	合計3年間	2008.9.5 2019.10.26改定	http://www.econ.kyushu-u.ac.jp/student/doubledegree.php
	同济大学建築・都市計画学院	大学院人間環境学府	修士	H30年度3名 H31年度5名 H32年度5名	九大2年、提携校2年半	2018.1.1	
韓国・中国	上海交通大学大学院 国立釜山大学校工学府 ※どちらか選択	大学院総合理工学府	修士	バランスを保つ ように行う	九州大学において1.5年間、 派遣先で0.5年(在籍は1.5年 間とみなされる)	2013.2.18 2017.2.22更新	https://www.tj.kyushu-u.ac.jp/campus-asia/eestic/index.html
フィリピン	アテネオ・デ・マニラ大学アテネオ・ロースクール	大学院法学府	修士	3名上限/年	合計3年間	2015.2.26 2020.2.26更新	http://www.law.kyushu-u.ac.jp/faculty/study/abroad.html
マレーシア	マラヤ大学法学研究科	大学院法学府	修士	5名上限/年	合計2年間	2016.4.19	http://www.law.kyushu-u.ac.jp/faculty/study/abroad.html
エジプト	エジプト-日本科学技術大学 電気・電子情報学類電子・ 通信工学専攻	大学院システム情報科学府	博士	5名上限/年	合計4年間	2015.6.10 2020.6.10更新	
スウェーデン	ルンド大学工学部	大学院工学府	修士	3名以内/年	合計3年間	2010.6.30 2015.6.29改定	http://irose.kyushu-u.ac.jp/ddp/introduction_ja
ベルギー	レウヴェン・カトリック大学文 学部及び社会科学部	大学院法学府	修士	2名	合計2年間	2019.9.1	http://www.law.kyushu-u.ac.jp/faculty/study/abroad.html